



Fulcrum Osteopathy Study Group 主催セミナー

慢性的な激しい痛みに対するオステオパシー治療

--体性内臓と内臓体性の相互関係--

講師：Philippe Druelle DO, DScO

- * 血管樹および治癒過程における量子レベルでのバランス
- * バイオメカニズム、バイオダイナミズム、バイオエネルギーのレベル、
ないし量子レベルにおける体性内臓と内臓体性の相互関係
- * 新陳代謝のバランスにおける感情の重要性について

本セミナーでは、骨格と内臓の間の生命エネルギーの相互関係について学びます。このバランスを理解するには、血管樹と心臓および量子レベルでの私たちの生理的バランスの調節における感情の役割というさらに二つの要因についても知っておく必要があります。また、患者の治癒のダイナミズムがポジティブに働くよう、治療する側の役割の重要性についても学びます。

フィリップ・ドゥリュエル DO が、体性内臓・内臓体性のバランスを習得することによって苦痛の原因を取り除き、患者の痛みをできる限り和らげるための実践に基づいたセミナーを提案します。

【セミナープログラム】

《導入部》

バイオメカニズム、バイオダイナミズム、バイオエネルギーのレベルにおける治癒のメカニズムを促進する要素についての説明。疼痛の現象における血管樹、炎症過程、脳の神経可塑性、体性内臓・内臓体性の相互関係の重要性

《第1部》

慢性疼痛および炎症過程における動脈とリンパ管の調節

人間の生理機能における交感神経系と副交感神経系の相互関係。迷走神経と炎症過程。バソモーション（血管運動）と交感神経系。脊椎の亜脱臼の3つの分類。

内臓の骨格への付着点の重要性。主な部位とその働き。

血管樹とバランスは、フィリップ・ドゥリュエル DO が開発した骨関節の構造の調節にとって重要です。肋椎関節、CO/C1、土踏まずの基本的施術の復習と上級テクニックの学習。陥没仙骨、押し下げられた仙骨、仙骨管の動態。心臓と心灌流。C7、第1肋骨、脳、心臓、腹部における血管樹の一貫性について。

《第2部》

液体・流体のバイオダイナミズム

肝臓、腎臓、子宮、脾臓、腸の実質の一貫性の評価。**実質とその機能を再活性化する方法**。疼痛の現象と炎症過程における実質の重要性。

圧迫性の痛みに対応するバイオメカニズムのレベル、中毒または炎症による痛みに対応するバイオダイナミズム、または新陳代謝のレベル、痛みを伴う痕跡に対応する場のレベルでの液体のワークを行う方法。

新陳代謝のバランスの自己調節におけるタイドとブレスオブライフの役割。疼痛の現象におけるその重要性。

量子レベルでのワーク。バランスの評価と治療。各項目につき一つか二つのテクニックを学習。

1. 心臓・脳、視床・島、脳室（特に第3脳室）のダイナミズム
2. 体性内臓と内臓体性のバランスに影響を与える腸と脳。炎症過程におけるマクロファージの重要性。慢性疼痛の原因の一つ。マクロファージに関するオステオパシー治療。
3. 脾臓・脳と免疫系
4. 脳・子宮と妊孕性
5. 脳・肝臓・膵臓・胃 直接栄養分の同化。関門。

《第3部》

痛みを訴える患者の前でオステオパスはどのように振る舞うべきか。患者と療法士の関係について。

回復に向かって前進し始めるための好ましい状態を患者にもたらすにはどうしたら良いか。

痛みが苦痛となる臨床例

《第4部》

疼痛の過程における脳のダイナミズムの役割

扁桃腺、島、視床、辺縁系。第5脳神経と硬膜。三つのテクニック。

《まとめ》

体内の液体・流体の動態

体性内臓・内臓体性の関係における液体・流体の動態

骨格系の戦略ポイント

交感神経と副交感神経系は、機能的バランスと生理的バランスを維持するため、常に連携して働いている。

感情、ストレス、生活習慣によってバランスが崩れ、また、バランスを保つ能力にも異変が起こる。ホルモンの変化によって生理機能や炎症反応だけでなく免疫の防衛機構にも影響が及ぶ。

患者が治療院に来たとき、どこから着手するかを知ること、および何故そこから始めるのかを説明できることが重要である。本セミナーでは、全体的なバランスを取り戻し、痛みを和らげ機能不全を改善するために知っておくべきあらゆる相互関係を学ぶ。

本セミナーでは、内臓と骨格の相互関係および脳のダイナミズムと感情の世界という新たな側面について学びながら、患者の苦痛を緩和する能力と方法の改善をサポートします。

講師紹介

フィリップ・ドゥリュエル DO, DScO は、その優れた業績により世界的に認められたオステオパスであり、その知識を伝授するための来日は FOSG 主催でのセミナーでは今回が八回目となります。

世界に数多くの伝統的なオステオパシー大学を創設し学生の指導にあたる他、セミナー講師として複数の大陸にまたがって精力的に活動されています。脳の領域、セントラルチェーン、脊柱を含む身体のダイナミズムにおける研究で知られています。オステオパシーの概念を初めて頭蓋内に応用し、脳の機能を再び活性化させる数多くのテクニックを開発してこられました。小児科学や産科学の分野でも多大な貢献を果たし、脳震盪の後遺症の緩和にも寄与されてきました。また、学生および施術者向けのオステオパシー専門書 28 冊を執筆されています。



今年 6 月にオステオパス 40 年を迎えたフィリップ・ドゥリュエル DO が、これまでの体験で培った患者の苦痛を緩和する方法を伝授します。

フィリップ・ドゥリュエル D.O. が 40 年の経験に基づく知識を伝授する本セミナーへのご参加を心よりお待ちしております。

F.O.S.G.代表挨拶

Fulcrum Osteopathy Study Group で Philippe Druelle, D.O. をお招きするのは今回で 8 回目となります。Philippe Druelle, D.O. はオステオパシーの伝統を受け継ぐ数少ないドクターの内の一人で、カナダやドイツ、ロシア、スイス、ペルーにある 9 校のオステオパシー大学の創設者でもあります。

私が Philippe Druelle, D.O. の講義を初めて受けたのが約 15 年程前です。私が彼に強く心惹かれるのは技術はもちろんの事、人(患者)、生命とコンタクトする姿勢、生命に対する洞察の深さであり、また生命にコンタクトする事の重要性を情熱を持って後進に伝えていく姿勢なのだと思います。

人は単なる有機物ではなく、そこには生命があり人生を通しての痛みや葛藤の全ての履歴が含まれています。生命は画一的なものではなく、一人一人がそれぞれの人生を生きる異なった存在です。患者を尊重し、その生命にコンタクトし、その人の人生においてその生命が十分に表現できるように手助けをすること、私自身の目指しているオステオパシーがまさにそれであると感銘を受けた事を今でもよく覚えています。

その後も恩師や Philippe Druelle, D.O. をはじめ様々なドクターに学んだことを手掛かりにしながら自ら探究を進めてきましたが、やはり 15 年以上が経過してもなお、Philippe Druelle, D.O. の人や生命、オステオパシーに対する姿勢に共鳴し続けています。

テクニックはあくまでもツールであり、オステオパシーの哲学や原理、人体の知識と統合することで応用し発展させて行く事ができます。

それらはとても重要な事ですが、さらに大切なのはその非常に重要なツールを生きている人間に適応させていく事だと思います。生きている構造体には生命の発現があり外界と相互関係を築きながらそれぞれ固有の表現をしています。術者である「人間」が相手の「人間」にコンタクトを行いオステオパシーを提供する事が非常に大切であると考えています。FOSG ではこのような考えのもと、前回に引き続き本質へのコンタクトをより深く習得するための概念と方法を共に学んでいきたいという想いとそれらを臨床においてより具体的に適応させていくことを習得するため今回のテーマで開催する事になりました。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

Fulcrum Osteopathy Study Group 代表 西山 正洋

＊開催日： 2019年 11月21日（木） 9：30～17：30 （受付9：00～）
11月22日（金） 9：00～17：00
11月23日（土・祝）9：00～17：00
11月24日（日） 9：00～17：00

*セミナー内容をより深く理解し習得する事を目的としまして、11/23(土)18：00～20：30に、希望者のみでFOSG代表 西山によるフォローアップセミナーを実施する予定です。
フォローアップセミナーの参加費は無料です。尚、フォローアップセミナーの開始および終了時間は本セミナーの終了時刻により多少前後する可能性があります。

＊参加資格： 「Fulcrum の概念 I」セミナーを修了した方

＊場所： PLP 会館 5F 大会議室

大阪府大阪市北区天神橋3丁目9-27

大阪市営地下鉄堺筋線 扇町駅4番出口より徒歩3分

JR 大阪環状線 天満駅改札口より南側へ徒歩5分

地図：http://plp-kaikan.net/access/a_index.html

＊受講料金： 176,000円（消費税込）

＊締切： セミナー開催日の7日前までにお申し込みください。
ただし、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

＊申込み方法： **9月2日（月）より受付を開始します。**

申込み用紙にご記入の上、FAXにて送付して下さい。

申込書が届きましたら、必ずこちらからお電話またはメールにてご連絡致します。お申込みいただいてから5日程経っても受付の連絡がない場合は、届いていない可能性がありますので、一度お問い合わせいただきますようお願い致します。（8/30～9/3、9/13～9/17はお休みをさせていただきますのでご連絡が遅れますことをご了承下さいませ。）

＊お振込み：こちらから申込書受領のご連絡をさせていただきました後、下記の口座に受講料金をお振込みいただきますよう、お願いいたします。
お振込みいただきましたら、セミナー受講受付完了となります。
当日会場にお越しいただきましたら、受付でお名前をお伝えください。

ゆうちょ銀行

口座記号番号：00980-6-172237

口座名義：フルクラム オステオパシー スタディグループ

【他銀行からの振込みの場合】

店名（店番）〇九九（ゼロキュウキュウ）店（099）

預金種目：当座

0172237

＊お振込の控えをもって領収書とさせていただきます。

＊キャンセル：セミナーでは2人1組となって実技を行いますので、出来る限りキャンセルのないよう、どうぞよろしくお願いいたします。
セミナー開催日の7日前より、キャンセル料が発生いたします。
キャンセル料金は下記の通りです。

7日前～前々日	セミナー料金の20%
前日	セミナー料金の50%
当日	セミナー料金の100%

＊注意事項：本セミナーは動画撮影及びデジタルカメラでの写真撮影は出来ませんのでご了承ください。ご自身の復習を目的とした録音は認められません。尚、ご希望の方にはカメラマンと担当スタッフが撮影したデジタルカメラの写真を有料(3,000円)にてお渡し致します。（写真のお渡しは後日となります。）
またセミナーには実技が出来る薄手で動きやすい服装でお越しいただくか、ご持参頂きますようお願いいたします。



〒530-0044

大阪府大阪市北区東天満 2-4-16 シャルムヒルズ南森町 1F

FAX：06-6948-5671 お問い合わせ：info@fulcrum-osteopathy.jp

*月曜と金曜はお休みさせていただいております。